

談呆国憂

season 2 VOLUME 32

安倍内閣の金融緩和から、
富裕層への増税策、
国防軍への名称変更まで！

京都造形芸術大学のギャラリィに展示された、
ヤノベケンジ作「ジャイアント・トラヤン」を
見上げつつ、対談を始めた田中・浅田両氏。
船出した安倍政権の舵取りはいずれこへ？
選挙後の日本、そして世界のあり方を問う。

photographs by Hiroshi Takaoka text by Kentaro Matsui

今月の憂いゴト

憂

田中
康夫

浅田
彰

日銀との金融緩和策は、 アクセルを踏み込む危険運転？

浅田 昨年末の衆議院選挙では、3年半続いた民主党政権の性急で稚拙な改革に失望した多くの国民が、一見、落ち着きのありそうな「老舗」の自民党に投票したつもりが、のれんをくぐって入って見たらとんでもない右翼政党に改装されてたつて感じだね。安倍晋三内閣は、憲法を改正して自衛隊を国防軍にするという目標を掲げる一方、経済については小泉純一郎内閣の新自由主義に戻ろうとしている。

安倍は「美しい国」を唱えてただから、農村の荒廃を防ぐとか、いい意味での保守主義を実践するのならまだしも、いま彼の目指す「新しい国」は弱肉強食の醜い現実を隠そうとさえしない。そのくせ短期的には昔から自民党のやってきたバラマキ財政に戻るってんだから、どうしようもないね。田中 13・1兆円と最大規模の2012年度補正予算案にしても、民主党政権が「3・11」後に復興費を計上した11年度第3次補正予算が12・1兆円だったから、それを上回るのが「暗黙の了解」という数字ありきでしょ。その中身や成果よりも金額の多い少ないが役所のプレゼンスにつながる霞が関にとって、こんなに美味しい話はない。

厚生労働省は待機児童解消のための保育士確保に438億円、ニートの若者を中心とした就労支援対策で2100億円も「積み上げ」たけど、大事なはその予算で保育士を何人増やすのか、待機児童がどれだけ減少するのか、失業率はどれくらい下がるのか、具体的な数値目標を掲げるべきでしょ。それでこそ、仮に達成しなかった場合

合に新自由主義者の皆さまが大好きな信賞必罰も可能となる。なのに、プレスリリースの段階でも見えてこないというのは省庁の役人に、早々とやられてしまっている証拠だね。

保育士資格を持つ人の就職を支援する「保育士・保育所支援センター」を各都道府県に設置するらしいけど、それこそ天下りの温床でしょ。なのに、メディアも無批判に報じている。非正規労働者に半年以上の職業訓練を実施した企業に支払う奨励金制度に600億円を計上するのも、「雇止め」をした場合の罰則もないんだからザル法のような予算でしょ。

従業員を1人増やすと法人税減税額を現行の20万円から40万円に倍増するらしいけど、前々から申し上げているように日本の株式会社社の7割、連結決算を導入している超大企業の66%が、法人税を1円も支払っていないんだから、ほとんど意味がない。自動車や「白物家電」のテレビの購入増大で景気浮揚につながるぞと旗を振ったけど、終了したら逆に売り上げが落ち込んだ「エコポイント」政策と一緒に、本質論になっていないんだよ。

だったら、最低賃金で週20時間は誰に対しても、道路清掃をはじめとして基本労働保証するベーシック・ワークを導入したほうが、はるかに価値がある。だけど、こうしたフェアでオープンでシンプルでロジカルに公正で透明で簡潔で理にかなった制度は、族議員や族団体と結託



して役所が裁量行政を展開するうえで都合だから抵抗するんだよね。民主党が掲げていた低所得者層への「給付付き税額控除」は不完全で問題もあるけれど、誰もに分け隔てなく給付する基本所得保証のベーシック・インカムを導入版とも言えたわけで、本来なら新自由主義を信奉する連中は、これぞミルトン・フリードマン様の「負の所得税」のテスト版だと拍手するべきだったのね。

同じ祖父でも岸信介でなく、大政翼賛会の非推薦議員として闘った安倍寛のDNAに学んで、「弱きを助け・強きを正す」富国裕民の政策を展開すべき、と述べてきたけど、首相を本部長とする「日本経済再生本部」の中に新設した「産業競争力会議」に竹中平蔵を起用しちゃうんだから困ったもんだ(苦笑)。確かに安倍が前回、首相の座を得たのは、小泉純一郎に重用

されたのがきっかけかも知れないけど、その小泉政権の尻ぬぐいで煮え湯を飲まされたのも事実なんだから、そろそろ「親離れ」をすべきなのね。7月の参議院選挙までは得票を減らさぬように「安全運転」だと称して、あれだけバラマキだと批判していた農業者戸別所得補償制度を存続させる一方、日本銀行に対しては圧力をかけ続け、物価上昇率「前年比2%」の目標導入を飲ませちゃった。現在の金融緩和策では生ぬるいと、14年初めからは購入期限を定めず、毎月一定額の金融資産を13兆円も買い入れる「無制限緩和」

の手法を採用するのは米連邦準備制度理事会(FRB)と同じで画期的だと内閣は胸を張っているけど、どうなんだろうね。

反リフレ派の代表格の野口悠紀雄が、日銀はすでに2000年代初頭以降、量的緩和の金融政策を実施し続けてきたのにデフレから脱却できなかった日本経済には、産業構造の転換が不十分といった様々な要因があるのだから、金融緩和策の実施だけでデフレから抜け出せるというのは甘い、と反論している。日本経済の課題を解決する「魔法の杖」が金融緩和策だ、と唱えて安倍政権の経済ブレーンを買って出たエール大学名誉教授の浜田宏一に代表される論調は、郵政民営化さえ実現すれば日本は経済も社会もバラ色になる、つて暴論と同じ既視感かな。

実はこの間、自民党副総裁の高村正彦が、中央銀行として政府からの独立性を保障されている日銀法を一時の感情で改正するのはどうなのかと、グローバル・スタンダードが絶対ではないけど、それとあまりに異なったものを先進国である日本が実行するのは好ましくないと主張し続けていた。TPPに関しても、アメリカは大統領が決断しても議会で歯止めを利かせることができると、政府・与党体制の日本は対外交渉が動き始めると止められない。国際交渉の途中で撤退しますなんて、松岡洋右の国際連盟脱退じゃあるまいし、信義則に反するから慎重に考えるべきだ、とも述べていた。そういう高村の意見、強面に見える人間が持っている本来の保守の知恵がもつと示されれば、安倍政権もどっしり感が出てくるのだからうけど、深みよりも軽みが今は目立っているのがねえ。

浅田 実際には高村じゃなく麻生太郎元首

相が財務相・金融相だからね。財務省の連中はこぞって『ゴルゴ13』を読んでいるって(苦笑)。

日銀に圧力をかけ、国債でも何でもどんだん買わせて、デフレからの脱却を図るっていう安倍の金融政策は、日本経団連会長の米倉弘昌さえ「無鉄砲」って言ったくらいだけど、安倍に怒られてすぐ謝罪するという弱腰ぶり。しかし、すでに実質ゼロ金利で、金利は下げようがないから、量的緩和しか手がない。そんな状態でインフレ目標を公表してもあんまり意味がないんで、田中さんの言うような有意義な財政出動や構造改革で需要を拡大するのが先決なんだよ。それができないからとことん金融緩和で行くってことになるんだけど、「どんだんカネをばらまけ」ってのは、やたらとクルマのアクセルを踏み込むようなもので、安全運転どころか危険運転。短期的にはそれだけでデフレから脱却するのは無理である半面、長期的にはインフレの危険を無視できない。実際、これだけの政府債務を解消するには、インフレがいちばんの早道なんだ。物価が倍になれば債務の実質価値は半分になるわけだから(むろん、国民のもつてる国債の価値は半減する、これがいわゆるインフレ税だね)。その意味で政府はインフレを望むものだし、だからこそ中央銀行は政府とは独立して貨幣価値を守るブレーキの役割を担わされてる。それを掘り崩すってのは、円の信認を掘り崩すってことで、すごく危ないことなんだよ。

確かに、近年の円高は、他国の経済がどこもひどいって消費的な理由からのものだし、行き過ぎた部分は修正される必要がある。ただ、輸出産業は円安になって喜んでるものの、原発震災後は石油やガスの

輸入が増えた、それを含めた輸入面ではむしろ不利になるわけだし、長期的には日本は国民の保有する資産を活かしていくしかない、その面でも資産の実質価値が目減りするの望ましくない。

いまは円安になったって喜んでるけれど、悪性のインフレと円安の恐ろしさをちゃんと認識しとかないと。

田中 円安は、年間3兆円もの輸出戻し税の還付を受けながら法人税を下げると言ってる一部の大企業にとって好都合だけで、原材料を輸入して内需で生きる日本の大多数の企業にとっては円高のほうがいい。むしろ、円高時代に合わせたかたちに産業のあり方を変えていくべきなんだ。もちろん、単純に海外進出すればいいって話ではなくて、現場を知ることが大事なんだけど、年明けの日経新聞が「おまえ、ここにきて、やってみる」の頭文字を取って「OKY」って言葉を取り上げていた。インドとか新興国に派遣されている社員が、日本の本社は机上の空論を押し付けてきて現場が全然わかってないと怒ってる特集なんだけど、読

リスクばかりを唱える
新自由主義経済の連中こそ、
経済効率を計算して
原発のリスクを
語りなさいよ(苦笑)。(田中)



田中康夫

たなか・やすお●1956年東京都生まれ。一橋大学法学部卒業。大学在学中に『なんとなく、クリスタル』で文藝賞受賞。長野県知事、参議院議員、衆議院議員を経て、現在、新党日本代表。

み進むうちに、これは記事を通じて日経の記者が自分の会社の経営幹部や編集幹部に對して、お前たちも何もわかってないだろOKY! と発している悲鳴なんだと気付いちやった(笑)。官庁だけでなく民間だって、どこの組織もみんなOKYなのかもね。大企業病の一種。

浅田 資本はあくまでも安い労働力を求めるから、もはや中国でも賃金が高すぎる、バングラデシュだ、いやこれからはミャンマーだ、ってことになる。だけど現場ではそりや大変だよ。あるいは、アルジェリアの砂漠の真ん中の天然ガス関連施設で働いてた「日揮」の社員が、イスラム武装勢力による外国人人質事件に巻き込まれるとか。他方、金持ちも税率の安いところにおカネを移す。フランスのフランソワ・オランド大統領が富裕層の所得税を75%にする増税策を打ち出したとたん、富裕層が国外に逃げ出し始めたように。俳優のジェラルド・ドパルデューなんかは国籍をロシアに移しちゃう始末。

田中 すごい話だよ。ブリジッド・パル

ドーもだっけ?
浅田 ベルギーへの脱出が多くて、ドパルデューもベルギーに家を買ってただけでウラジーミル・プーチン大統領が「ロシアに来い」って言ってくれた、と。

日本には、さすがにロシアに国籍を移すほどの肝っ玉のある金持ちも少なそうだけど、グローバル化が悪しき平準化も招くのは確かで、とにかく税率が低いところに世界中の富裕層の金が集まり、賃金の低いところに労働需要が集まる、その影響は避けられないね。グローバル化によって世界全体の所得水準が上がってきてるのは事実だし、グローバル化に背を向けて鎖国することもできないけれど、過渡期の混乱を乗り越えるには慎重な舵取りが必要とされる。TPPでも何でもアメリカの言いなりの安倍政権にそれが可能だとは思えないな。

間違った保守主義者の頭こそ、「保守」点検が必要。

浅田 「安全運転」と言いながらも、安倍内閣は憲法改正にも意欲的で、衣の下の鎧がかなり露骨に見えてきてる。憲法改正の発議には衆参両院の3分の2の賛成が必要だけど、まずはそれを2分の1に緩和しよう、と。具体的には9条の改正が最大の目的で、ついでに自衛隊を国防軍という名称に変更しよう、と。たしかに、自衛隊が軍隊じゃないなんて言ってるのは国際法上いろいろと問題が起こるの事実だけど、近隣諸国との関係が悪化しているいま、国防軍なんていう名称変更は火に油を注ぐことにはかならない。

田中 ところが年明けに「①憲法まともに読まない②憲法まともに読んで護憲③自衛隊解体④憲法まともに読んで改憲⑤自衛隊



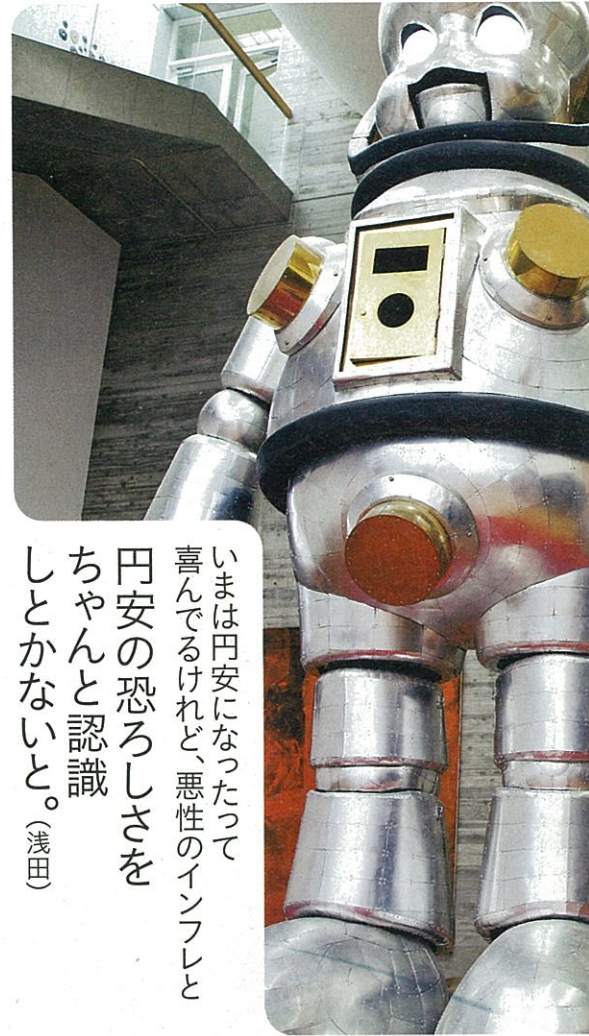
合憲化の実に大雑把な三択を持ち出して、
①は異常なので②か③にしようぜ、②は無
理なので③しかないでしょ」とツイッター
で言い出す浅薄な人物が現れてね。都知事
選で猪瀬直樹の応援演説に出かけた、浅田
さんもご存じな東浩紀という方なだけで
(苦笑)。

「丸山真男」をひっぱたきたい 31歳フリ
ーター。希望は、戦争。』で2006年に
登場した赤木智弘に「僕の立場は④憲法を
まともに読んで、矛盾をスルーだな。現行
の憲法では自衛隊の存在は矛盾というもの
1つの解釈にすぎない。現行法でも自衛隊
は存在可能と同じく」と軽くいなされちゃ
った。

「憲法変えるなら、あと2世代くらいあと
の日本人じゃないとダメだろ。あれだけの
経済成長という恩恵を受けながら、まとも
な社会をつくれなかった日本人なんだか
ら」とも赤木は呟いているけど、「憲法改正
が戦後最高に現実的になっている」とハイ
になっている東はどう反応するのか。

「この国のかたち」でなく「この国のあり
方」が問われていると繰り返し申し上げて
きたけど、1人1日4万6000円も国は
予算を計上してゼネコンが請け負っている
のに、作業員には8000円も渡っている
「中抜き除染」に続いて、今度は「手抜
き除染」が発覚した福島除染も、まさに
そう。

「フクイチ」周辺で取り除いた土や枝葉、
洗浄に使った水の一部を現場周辺の川に捨
てる「手抜き除染」が横行していたことを
朝日新聞が報じるや、政府は慌てて「除染
適正化推進本部」を設置したけど、阿武隈
川から太平洋に流れ込む放射性セシウム量
は1日に500億ベクレルにも上ると僕が



いまは円安になったって
喜んでるけれど、悪性のインフレと
円安の恐ろしさを
ちゃんと認識
しとかなないと。(浅田)

1年以上前に本会議の代表質問で警告を発
してきた問題はスルー状態。

「ニューヨーク・タイムズ」も、福島除
染作業は「日本最大で最悪の公共事業」と
批判したように、除染は単なる「移染」に
すぎないということの本質を見極めようと
せずに、汚染された葉っぱを袋に入れてい
ないのは環境省の監督責任だ、いや、ゼネ
コンの監督責任だと、マスコミも含めてモ
グラ叩きばかりやってる始末。ゼネコンを
儲けさせたいんだつたら、バブル崩壊後に
開店休業状態の全国のゴルフ場を国家予算
で買収し、「フクイチ」周辺に戻れない住民
のために「新しい街」を建設して、住居と
職業をコミュニティ単位で提供するほうが
裾野の広い経済復興になるし、老朽化した
全国原発の廃炉に取り組むことをが新
しい公共事業のあり方。間違った保守主義
者の頭のなかこそ、一度「保守」点検をし
ないとね(苦笑)。

浅田 ヤノベケンジの「ジャイアント・ト
らやん」を福島に置いて警告すればいいん
じゃないか(笑)。彼がチエルノブイリに

浅田 彰

あさだ・あきら ●1957年兵庫県生まれ。
京都大学大学院経済学研究科博士課程中退。京都造形芸術大学大学院長。
83年に出版されたデビュー作『構造と力ー記号論を超えて』はベストセラーに。



行ったとき、廃墟となった幼稚園に捨てら
れてた小さな人形を拾い上げた、それが巨
大化して甦るってのが「スタンダ」ってい
うロボットだったんだけど、「ジャイアン
ト・トラやん」もその延長上にある作品な
んだよね。ゆらゆらと動かし、火も噴く。
橋下徹大阪市長が文化予算の削減を主張し
てたとき、それに対抗して大阪市役所まで
運んで立てたこともあるんだ。
いずれにせよ、市場万能の新自由主義で
いくつていうのなら、保険料だけ見積もっ
ても民間企業では運営できない原発を維持
するのはおかしいってことになる。それを
無理に維持していくってのは、日本も国家
資本主義だってことなんだよ。
田中 リスクばかりを唱える新自由主義経
済の連中こそ、経済効率を計算して原発の
リスクを語りなさいよ(苦笑)。「国土強靱
化」と称し、先端建設技術センター、日本
建設総合情報センターといった天下り財団
に丸投げする旧来型公共事業の大展開も、
安倍政権の周囲に巣くう新自由主義経済の
信奉者は激怒すべきでしょうに。

浅田 尖閣諸島の問題も、資本主義の観点
からいって、いまや日本経済は中国なしに
はやっていけないんだから、先人の知恵の
通りに棚上げしておけばいいだけの話な
のね。

その中国は、3月に就任式を迎える次期
国家主席の習近平が各地をまわって、安
い部屋に泊りながら役人の不正を摘発する
っていう水戸黄門みたいなことをやってる
みたいだけだ。

田中 温家宝の手法を踏襲しているね。B
S11「田中康夫のつぼんサイコー」に
出演してもらった遠藤蒼が言うには、実は
胡錦濤も2002年に総書記になった直後、
『人民日報』論説主幹だった馬立誠に「日
本はもう十分に謝罪したので、これ以上の
反日は止めよう。狭隘なナショナリズムは
日中双方にとって良くない」と「対日新思
考」の論文を書かせた。ところが1992
年から始まった愛国主義教育に洗脳され
ている若者が「売国奴」だ「国賊」だと罵倒
して、馬は左遷され、胡錦濤も親日路線を
表面上、捨てざるを得なかったとね。

でも遠藤は今回の「チャイナ・セブン」
は一見、江沢民派に見えるけれど、その江
沢民は完全引退させられ、中南海から去る
時にチャイナ・セブンは誰一人として見送
りに出ていないのを踏まえて、次の5年後
に李克強ラインが頭角を現すだろうし、習
近平と李克強と胡錦濤は完璧に一体だと。
とはいえ、軍部や江沢民系の既得権益派は
抵抗するだろうから、一気呵成は難しい。
一党独裁の共産党が崩れたらとんでもない
カオス状態に陥っちゃうから、なだめなだ
めでの状態を続けて軟着陸するしかない。
一般国民がそれまで黙っていられるかどう
か、難題だけだ。